



教育力向上福岡県民運動

教育力向上福岡県民運動 ワンポイント・リーフレット 第18号

# 家庭学習



～家庭に学びの環境を～



平成22年11月

子どもたちの学力の向上を図ることは、学校の重要な役割の一つです。

しかし、学ぶ意欲をはぐくむためには、子どもたちの生活基盤である家庭でのかかわりがとても大切になります。それぞれの家庭で、子どもの学習を温かく見守り、しっかりと支えていくことは、子どもが学ぶ意欲をもって毎日継続して学習に取り組む上で重要です。

学校と家庭が連携して、子どもの家庭学習の習慣化を図りましょう。

## 家庭学習における家族の役割

### 1 学習環境を整えましょう

### 2 子どもの家庭学習に意識してかかわりましょう

#### 家庭学習のきまり

- (1) 毎日必ず学習する。  
(時間ややることを決める)
- (2) テレビや音楽を消したり、机の上をきれいにしたりする。
- (3) 学校の宿題を最初にする。
- (4) 毎日、短い時間でも読書をする。
- (5) 勉強が終わったら、次の日の準備をする。

子どもとのコミュニケーションのとり方やほめ方については、「ワンポイント・リーフレット」の第1号と第2号を参考にしてください。

発行済みの「ワンポイント・リーフレット」は、「教育力向上福岡県民運動ホームページ」からダウンロードできます。



## 小学校低学年

### 一緒について、勉強する楽しさを実感させましょう

小学校低学年では、決まった時間に宿題をすませるなど、基本的な生活習慣を身に付けさせることが大切です。

低学年の間は、保護者の支援が、学ぶ意欲や学習習慣に大きく影響します。子どもの学習の様子を把握し、できるだけ一緒に家庭学習に取り組んでください。

また、テレビを見ながら勉強しても効果は上がりません。子どもが落ち着いた学習環境で集中して学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

- ◇ 当たり前のこととして家庭学習を位置付け、基本的な生活習慣を確立しましょう。
- ◇ 学校からのプリント等は必ず目を通して、子どもと一緒に時間割を確かめましょう。
- ◇ 小さながんばりを見逃さず、励ましの言葉をかけましょう。
- ◇ 一緒に勉強ができないときには、宿題等に目を通しておき、後で声をかけましょう。



子どもの家庭学習の様子で気づいたことがあれば、連絡帳などを使って、担任に知らせるなど、学校と連携することも重要です。

## 小学校中学年

### 認めて・ほめて、やる気を引き出しましょう

中学年になると、子どもに放課後の予定がたくさん入っている曜日もあると思いますが、短い時間でも「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせましょう。

この時期は、自分の考えを大切にしたり、気に入った活動を意欲的に追求したりするようになります。保護者の温かい助言や励ましの言葉が更なるやる気を起こします。また、自分でやろうとすることは増えてきますが、まだ手助けは必要です。ときどき、宿題や持ち物を点検するなど手助けと応援をしながら、少しずつ自分でできるようにしていきます。

- ◇ 机の上や学習用具の片付けを徹底させましょう。
- ◇ ときどき、子どもと一緒に勉強をしてみましょう。学校でどんな勉強をしているか知ることが大切です。
- ◇ 子どもが学習内容について質問してきたときは、きちんと向き合しましょう。
- ◇ やったことを認めてあげましょう。認められることで次に挑戦する気持ちや、やればできるという気持ちが育ちます。



## 小学校高学年

### 見届け・励まし、自主性を伸ばしましょう

高学年からの時期は、自分なりに納得のいく活動ができたときに充実感を感じる傾向が強くなっていきます。一方、友人や他の人からの発言や反応が、ときとして学習意欲を左右することもあります。

子どもの話をよく聞き、「やればできる」という気持ちをもたせ、成長を見届けましょう。的確なアドバイスは、子どもの自主性を伸ばすことにつながります。

- ◇ 返却されたテストや学習プリントなどの整理を心がけさせましょう。
- ◇ 自分で計画を立てて、学習を進めることができるよう見届けましょう。
- ◇ 社会の動き(ニュースなど)に興味を持たせましょう。
- ◇ まわりの子どもとの比較ではなく、昨日のわが子と比べてほめましょう。



## 中学校

### 中学生の生活リズムと学習習慣を身に付けさせましょう

中学生になると部活動なども始まり、生活リズムが大きく変わります。「早寝・早起き」「しっかり朝食をとる」などの基本的な生活習慣を見直すことが必要です。

また、この時期は、心も体も急激に成長しますが、バランスがくずれ、ちょっとしたことで不安や悩みを抱え、気分が不安定になることもあります。子どもは、保護者に自分の成長を見守ってほしいと思っています。

- ◇ 1日、または1週間の生活時間の有効な使い方を話し合しましょう。
- ◇ 家族であっても話をしないとお互いの気持ちは分かりません。進路や将来の希望などについて、話ができる時間をもてるように意識しましょう。
- ◇ 気分が不安定で、苛立ったり反抗したりもしますが、家族の気遣いが大変うれしいときでもあります。共感しながらじっくり話を聞いて、励まし続けましょう！

